

第1回震災伝承検討会議 概要

日 時：平成28年7月21日（木） 午後6時30分～午後8時30分

会 場：石巻市役所4階庁議室

概 要：

- (1) 「震災伝承検討会議」の役割・スケジュールについて
 - ・震災伝承及び震災遺構に関するこれまでの動きと各会議の関係、「震災伝承検討会議」の役割・スケジュール等を確認した。
- (2) 「石巻市震災伝承計画」の枠組み（案）について
 - ・たたき台としての「石巻市震災伝承計画」の枠組み（案）を確認した。
- (3) 震災伝承の現況と課題について
 - ・石巻市における震災伝承の現況と課題について情報を共有した。
- (4) 震災伝承等に関する意向・意見について
 - ・「震災伝承の理念の考え方」、「伝承する内容」、「伝承の方法」についての意見が多く出され、その他に「施設のあり方」や「情報館のあり方、直すべき点」などについて意見を交換した。

会議での主な意見

- ・理念の問題が一番重要だと思う。目的、内容、主体、対象、方法、この枠組みでまとめていけば良いと思う。
- ・会議が5回では少ないのではないか。もう少し長いスパンで考える必要があるのではないか。
- ・既に拠点的に活動している所の場づくり、伝承の活動、外への発信の取り組みをちゃんと把握して、この3つの枠組みを体系化して整理できれば良い。
- ・50年経っても100年経っても、その思いや物事が、永続的に伝わっていくような形にしたい。
- ・震災伝承という概念そのものをどういう範疇で捉えるかという事が一番大きな問題だ。
- ・日和山、門脇、大川ばかりではなく、湊、渡波のような津波被害の大きな地域についてもちゃんと伝えなければならない。
- ・東松島、女川などとの連携も考えなければいけない。
- ・歴史的な事はすごく重要。津波の悲惨さばかりではなくて、何年前にはこういう津波があった、地震があったという事も伝える。そうすると、来た方々はすごく関心を示す。
- ・昔、人々はどのような暮らしをしていたのか。津波に対して普段からどんな心掛けをしていたのか、そういう地域の意識というのも大事。
- ・今回の災害で災害医療が大きく変わった。石巻市としてそういった医療面の部分も残す事も大事なのかなという風に考える。
- ・学校教育の中で、防災教育を進めていくという事は、非常に大事な事だ。
- ・大切な方たちが亡くなったり、大切な街があった生活の上を、沢山の方がぞろぞろと歩く事を嫌がる方たちも多いと思う。話し合いの中でどうやって理解を重ねて行くかが大きな課題。
- ・受け取る側が何を求めているのかというのもすごく大事だと思う。見過ごしてしまうとずれて、私たちが伝えたいものとずれてしまう事がある。
- ・地元で思いを持って伝えている方たちの声が、少しずつ反映されていく事がすごく大事だと思うので、声を拾うための仕組みを考案出来ると嬉しい。
- ・語りだけでは、何年も先も語り継いでいくのはなかなか難しい。資料や現物をきちんと保存してもらい、それを語り継ぐという様なやり方をしていかないと、何年も続かないと思う。